

県民のあゆみ

1

No.637

山形県広報誌
令和6年1月号

県民のあゆみ

1
No.637

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



- 2 新春知事対談 やまがたの魅力の世界へ～観光復活への挑戦～
- 6 特集 若者の県内定着・回帰の促進に向けて!
- 16 潜入レポート! 除雪車

📷 今月の表紙

「やまがた魅力発信アンバサダー」のお二人と取材先の文房具店の店長さん。県内外の大学生などの若者がアンバサダーとなり、若者目線で選んだ特色のあるお店や観光スポットなどを取材して、魅力を発信しています。(撮影協力：おかげさま文房具店)



どうなってるの!?

じよせつしゃ 除雪車

ゆきみち あんぜん まも
雪道の安全を守る除雪車。
除雪はどんな仕組みで行われるの?

さまざまな除雪車とたくさんのオペレーターが冬の安全を支えているんだ。

雪が積もると出動する除雪車。大きなブレードで道路の雪を押し出す「除雪ドーザー」や、回転刃で道路脇にたまった雪などを崩して飛ばす「ロータリー除雪車」、でこぼこに積もった雪を削って平らにする「除雪グレーダー」、歩道の除雪を行う「小型除雪車」など、さまざまな種類の除雪車が活躍しています。

除雪車が出動する目安となる雪の量は、車道が10～15センチ、歩道が15～20センチです。積雪量の観測や天気予報などから出動するかどうかを決めます。除雪作業は、通常、道路の交通量が少なく、安全に作業ができる深夜から早朝にかけて行いますが、雪が多く降り続くような場合は、日中も継続して除雪を行います。県道などの県が管理する道路では、ひと冬で約1,200人のオペレーター(運転手)が交代で除雪を行っています。高い技術を持ったたくさんのオペレーターが山形の冬の道路を守っているのです。



稼働しないシーズンは県内各所の除雪基地に保管しています



渋谷建設株式会社 オペレーター
かねこりょうた
金子 遼太 さん

雪が降っても県民の皆さんが安全で快適に道路を利用できるよう、丁寧な除雪を心がけています。道路に雪を置かないなどの排雪ルールにご協力いただき、みんなで冬の道路の安全を守っていきましょう。



大きな除雪車を守る小さな部品

回転刃が縁石などにぶつかった際、回転刃を固定する「シャープン」が先に壊れることで、回転刃を守り除雪できなくなることを防ぎます。



安全第一、二人で周囲を確認!

除雪ドーザーやロータリー除雪車での除雪作業は、運転をする人と周囲の安全を確認する人の二人一組で行います。事故防止のために声かけをしながら安全に。



除雪車の運転には2つの資格が必要!

大型の除雪ドーザーなどのオペレーターは、「大型特殊免許」のほかに「車両系建設機械技能講習修了」などの専門の資格を持つ除雪のプロフェッショナルです。



これが雪の量をはかる雪尺

県内各地の雪の量を調べるために、約80か所の観測地点があります。一般の住宅にもあるので、もしかしたら近くに観測地点があるかも?

👉ここに広告を載せませんか?

県民のあゆみは発行部数約40万部、県内全戸配布。
アンケート調査では回答者の**41.6%**が**情報収集に利用**しています(※)
※令和5年度山形県広報効果に関するインターネットアンケート調査より

◎掲載料:1枠300,000円(税込)
中面のページ1枠 200,000円(税込)
◎問合せ:県広報広聴推進課 ☎ 023-630-2087

県ホームページのバナー広告
も募集中!
◎掲載料:1枠50,000円/月

詳しくは



インターネット通信
利用の環境を整え
ご利用いただけます。